

健康寿命延伸都市を目指して 12 年

国保税が県下一の高額となる (市民タイムス 28 年 5 月)。

390-0851 松本市島内 6595 管理栄養士、前市議会議員山崎たつえ
☎0263-47-2698 fax87-7055(28.4.26)

はじめに——高齢化率 26.8%(2015 年)の松本市民にとって健康は大きな関心事である。市長選挙調査からも医療、福祉に対する要望は 41%と強かった (信毎 28.3.15)。又、私の住む地域を見ても、医者通い、介護施設通いの人であふれている。

▲健康寿命延伸の姿が見えない

菅谷市政も、市民のニーズに答え、健康を柱に、健康寿命延伸都市構築をめざし、12 年間走り続けた。しかし、菅谷市政には、その実績が見えない。

別紙の如く、健康寿命、平均寿命は県下の平均以下、不健康期間は 19 市中、一番長い。国保税 (医療に要する費用)、介護保険料は県下 (19 市中) 1 番・2 番の高さである。しかし、市民はこの実情を認識していない。

▲健康宣伝

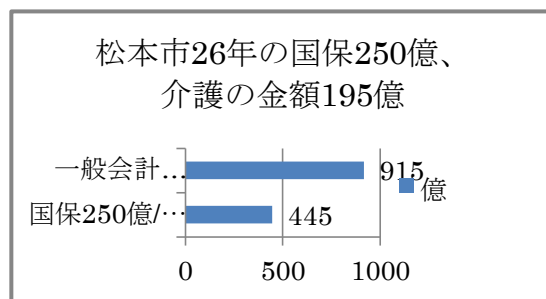
なぜか。菅谷市政は実績がないのに「世界に松本市の健康政策を発信する」と豪語し、ドイツ、台湾にまで職員を派遣するなど、健康宣伝をしているからである(写真は文芸春秋(広告費 424 万円の記事)。市民は、それを信じこまされ高い国民健康保険税 (医療に要する費用)、並びに介護保険料を払わされている事に気がついていない。



▲松本市の最重要課題

その姿を反映しているのが、松本市の医療・介護の財政であり、大変な状況である。

図をご覧頂きたい。26 年度一般会計(生活、地域、環境、経済、教育、文化などに使った金)は 917 億円である。そして、国保 (医療に使った金)が 250 億円、介護に使った金が 195 億円である。一般会計を 100 とすると国保 (医療に要する費用)、介護は 50 に当たる (資料松本市の国保/安心、いきいきプラン松本より引用)。



松本市にとって国保 (医療に要する費用)、介護は財政上からも最重要課題なのである。これまでにになったら個人の自覚の問題と言っているわけにはいかない。自覚を促す行政の対策が必要である。国も県も各自治体も、その対策に躍起となっている。

■国の対策

まず、国の施策を見ておく。国は平成 12 年健康づくり政策「健康日本 21」をスタートさせた。それを受け松本市は平成 14 年にスタートしている。現在の病気が、運動不足、不適切な食生活生活習慣が原因で起っているため、具体的には運動と食生活の良き習慣化に必死に取り組んでいる。病気にならない体を作る事、病気が悪化しない事、介護

健康づくり政策、特に国保加入者については、行政のすべき仕事。企業については企業保健組合の責任

長野県はかつて脳卒中死亡率全国三位でした。長野県も各市町村も個人的な問題と言っつていられず減塩運動に取り組み、ついに全国一位の長寿県になりました。

にかからない体を作る事、介護度が悪化しない事が、行政のすべき健康づくり政策である。

市民は菅谷市政にそれを期待し、平成 16 年菅谷市政は誕生した。

菅谷市政に期待した健康づくり

しかし、12 年間、健康づくりの結果の姿が見えない。別紙の如く就任 16 年以來、松本市の国保税、介護保険料の県内順位は悪化の一途を辿り、(19 市中で) 1 番・2 番の高額負担の市となってしまった。

A 菅谷市政の健康政策の推移

ここで、菅谷市政の健康政策の推移から辿ってみることとする。

①. 市長は市民歩け運動を提唱——しかし、健康政策を歌わなかったわけではない。菅谷氏は「医師である自分の出来る事からする」と言い、「人間の健康を柱とする」と発言。平成 18 年議会で具体的に『全庁を上げて市民歩こう運動をする』と発言した。歩く事で健康づくりをするには、それを習慣化する事である。しかし、菅谷市政ではイベントの時に歩く企画やウォーキングマップ作りのみが目立った。庁舎の玄関には「まずは歩く事から始めましょう」と書かれたマットが敷かれた。



その姿はマスコミを通じ、良く報道されたので、市民には如何にも市民歩け運動をしているように見えた。

山崎は、菅谷市政がほぼ 10 年になるとうとする 25 年国保税、介護保険料を調査した。別紙の如く、有賀市政時より悪化の一途であった。改善策や実績を上げている茅野市佐久市の視察も提言したが、されなかった。



② やがて菅谷市長は、生活、地域、環境、経済、教育、文化などに健康をつけた。しかし、その結果も見えなかった。

経済にしても、健康創出の企業を誘致すると新工業団地の造成をし、意気込んだが、28 年 3 月現在、半分も売れていない。

4. ほどなく、市は健康寿命延伸について大掛かりな、宣伝を始めた。26 年 12 月号の文芸春秋では 423 万円もかけて健康寿命政策を宣伝。27 年には「松本市の健康政策を世界に発信する」と、ドイツ、台湾に職員を派遣し宣伝した。バス、駅への看板など街中は勿論の事、あらゆる文書に健康寿命延伸都市の名前が書かれた。

市民の中には、長野県で一番の健康づくりの良い市と思うようになった人も多くなったと聞く。

実態がないのに大宣伝をする。——それをあざ笑うかのように、平成 26 年には、国の平均寿命が発表された。又、27 年度 4 月には長野県が健康寿命年齢を発表した。両者とも、松本市は県平均以下の惨憺たる結果であった。



5. 生きがいつくり政策に転換——そして、平成 27 年頃になると菅谷市長は松本市の健康寿命延伸都市の目標を「健康づくりの延長とし生きがいつくりを目標とする」と言いだした。「生きがいつくり」ならば、健康づくりの様に数値が出ない。近日中に、あらゆる文書、街中のあらゆる所に『生きがいつくり』の張り紙がされるのではないかと市民の声もある。

宣伝より実績を——宣伝に力を入れれば職員は、その為に力が削がれる。例えば、台

湾への健康宣伝となればその為の準備が大変。まず、市民の健康づくりをし、実績を上げれば黙っていても視察がきて、健康寿命延伸を掲げる市長の顔が立つというもの。

B 市の今、すべき事——健康宣伝ではなく、健康の維持、増進であろう。

菅谷市長は16年の就任後の平成18年議会で「全庁を上げて市民歩こう運動をする」と発言した。その様な政策をし、歩く事を市民に実行させる事が出来れば、医療に要する国保税、介護保険料は、現状維持、あるいは、減額させることが出来るはずである。



■二つの事例を記す。まず私の事例。血圧170-200、体重69kg、腹囲107cmであった。医者に行くと思い毎日1時間の水泳と食事に配慮した。水泳は全く泳げなかった。1ヶ月半、クロールの練習に通ったが泳げず、諦めかけていた時、ふと、背泳ぎをしてみた。すると泳げたのである。大きな腹囲が浮力になり、浮いたのではないかと思う。それに自信がつき、以来1時間泳ぎ続ける事が出来た。

あれから7ヶ月、現在血圧130前後、体重61kg、腹囲95cmとなり、高血圧症の薬(月自己負担3割なので3000円)は、もういない状況である。私の年間医療費約11万円。私程度の高血圧症の人5000人に市が「食事と運動の指導」をし、実行させたら、5億5千万円の医療費の削減となる。

次に埼玉県東松山市の事例を記す。これは議会中に発言したことである。東松山市は「国民健康保険税の軽減」を目標



に市民歩け運動を展開。市長始め、最低3ヶ月、毎日、歩く実践をし、歩く事を習慣化した。全人口の6%が参加。その結果、翌年の国保への医療費は2億7千万円の減となる。イラストは市長が先頭に歩く東山市長の姿。

■ 国保と山崎の議会発言

山崎は健康政策の調査をし議会で何回か指摘した。市民歩け運動について調査したが結果を示す資料は何もなかった(山崎議会発言25.6)。又、市長は22年に国保税を上げるについて「検診率を上げるので、国保税を上げさせてほしい」と言ったが、調査すると検診率は下がっていた(山崎議会発言25.6)。又、26年に調査すると国保は19市の中で一番高く、介護保険料は県下77自治の中で一番高い事が判明した(議会発言26年6月)。実績を上げている佐久市や茅野市の視察を提言したが、政策を見直そうとしなかった。(写真は28年2月の市民タイムスの記事。ピンチとなった国保について知らせる記事。山崎が議会で何回も指摘したのに、国保が高額になる根っこの対策を放置した為である)



なお、私は調査についての記者会見、説明の場合、調査の元資料も添付している。心無い人の中に「山崎の調査はでたらめ」と言う人がいると聞いたからである。

「松本市の医療と福祉を考える会」発足

平成28年2月、松本の健康問題に関

金沢市立病院には肥満の人の為のセンターがあり、生活改善の指導を中心に行い、3kg~5kgの減量を目指しています。高血圧、糖尿病には、特に肥満はよくありません(日本栄養士会雑誌28.1月号)。

心を持つ有志で「松本市の医療と介護を考える会』を立ちあげた。

同会では、松本市の前記の健康状況の実態を、より多くの皆様にご理解頂く為に市民の協力でチラシを配った。添付の「市民の皆さまへ」のチラシは市民の支援で印刷されたものである。又、記者会見をしたり、市長選挙では各市長候補の皆様にも説明をさせて頂いた。このようにして、多くの皆様にご理解を頂いていった。

各市長候補者は「実態のない現市政の健康政策」を市民に訴えていた。

市長選挙が終わった翌日の3月14日信濃毎日新聞は「松本市の健康寿命延伸は課題」と大きく報道した。そして、健康づくりの検証の必要性を社説でも言及していた。



参考: (Aの4 関連記事)「松本市民が宣伝により、如何に松本市の健康政策の実態を誤って、思い込まされているか」の証を記させて頂く。

市民は健康政策の実態を知らされていない。信濃毎日新聞(28.3.14)による市長選挙時の出口調査によれば「市民の優先して欲しい

課題は医療、福祉が最多で、うち79%が菅谷氏が引きつけた」と報道している。

前記の如く、菅谷市政は医療、介護に成果を出していないのに、市民は、菅谷氏を選択している。これは、実態を知らされていない市民が、健康政策の宣伝により、「菅谷市政が、健康福祉問題をやってくれている」と思いこまされている証である。

もし、市民が、健康福祉に成果が上がっていない事を認識していたら、健康福祉政策に成果をあげない人を選択しないであろう。

一人会派と多数派会派

私は議員在職中、一人会派で調査研究しては発言し、活動してきた。ひとり会派でやってきた私にある人は「議員は仲間がいなければ何も出来ない」と言った。一人でいたのは経験から「数より理論の元での活動」を選択しただけの事である。今の時代、きちんとした理論の展開があれば、一人の発言でも社会は動かざるを得ない場合がある。又、何時の場合も、私には、市民に理解してくれる人が現れ助けられた。そして、多くの事が出来た。今回の松本市の健康づくり政策への提言も多くの市民の力が後押ししてくれた。ある知人は「一人会派では何も出来ないと言われた」との私の話を聞き「田中角栄を総理の座から落としたのは一人の作家の調査研究ですよ。あなたは貴重な存在です」と励ましてくれました。

山崎たつえの履歴 1940(S15)誕生・筑北中学・蟻ヶ崎高校・長野県短期大学卒・1960～1970 長野県職員・1994～2000 高校教師・1996～1999 放送大学へ編入卒業・2001～2003 新潟大学大学院修士課程《社会学専攻》修了・2008～2015.4 市議会議員 著書・論文—1965 日本栄養改善学会・学会賞受賞/1979『母が語る子育て論』明治図書出版/1986『続母が語る子育て論』明治図書出版/スウェーデンへの旅 2004/『おびえる妻たち』2006 郷土出版/2010『市議会議員は見た』アットワークス社他 誤字脱字がありましたらお許し下さい。ご意見がありましたら ☎・fax 47-2698 へ。ご支援頂けましたら幸いです。郵便振込 00540-3-80917 山崎たつえ 1000 円 (上限) 住所は 1 p。

市民の皆さまへ

28年2月吉日

松本市は平成16年度から12年間健康を柱としてきました。私達は皆さまに健康行政の実態をお知らせし、そのあり方を考えて頂く為に会を設立しました。「松本の医療と福祉を考える会」会長米沢光夫

健康寿命は(19市中)平均以下

健康寿命延伸都市を標榜する松本市。松本市の健康寿命(表1参照)は19

市の中で、上位から数えて女性17番目83.33才、男性9番目79.32才と中位以下。また、県全体の平均以下でもある(信毎27.11.12)。

	女性	男性
県内19市の中での順位	17番目	9番目
健康寿命	83.33才	79.32才

平均寿命も県の平均以下(表2)

松本市の平均寿命は男性80.8才、女性87.3。

県内77市町村の中では男性44位、女性31位と中位以下である。又、長野県は長寿全国1位、松川村は全国自治体で長寿1位。

	男性	女性
県77市町村での順位	44番目	31番目
19市の中での順位	11番目	12番目

不健康寿命(19市中)一番悪い(表3)

不健康寿命(表3)は介護度2以上の人。年数の長い程良くない。松本市は19市の中で一番長い。女性は4.16年であり、男性は1.97年である。最低の市との差が大きい。

順位	市名	男性:年	女性:年
1	松本市	1.97	4.16
2	東御市	1.82	3.7
3	安曇野市	1.78	3.75
4	上田市	1.71	3.7
5-9は紙面の都合で削除			
10	長野市	1.58	3.34
11-16は紙面の都合で削除			
17	須坂市	1.3	2.77
18	小諸市	1.25	3.17
19	伊那市	1.25	2.56

多い市職員の長期療養者(長期療養とは1ヶ月以上の療養者)H26度正規職員の3.04%、53人が長期療養者。精神疾患31人、その他22人。H25年度は4.06% 70人であった。

事務局より:この紙面の「理論的根拠、数値」をご希望の方は下記に連絡下さい。誤字脱字がありましたらお許し下さい。又、連絡頂けましたら幸いです。事務局長住所390-0851松本市島内6595山崎たつえ「松本の医療と福祉を考える会」Fax 0263-47-2698。

国保税。介護保険料は医療費が基盤。その軽減には病気を減らす事である。現在の主要な病気は生活習慣に起因する生活習慣病であり、心臓病、高血圧症、糖尿病、癌、等である。生活習慣を変える事が予防。「栄養と運動」の生活習慣は特に大切とされ、国をあげて取り組んでいる。菅谷市政は、口では「運動、健康」を推奨したが、結果が見えない。実践した他市の事例を裏面に記す。

国民健康保険税 (19 市の中で) 2 番目に 高額。16 年度より悪化 (表 4)

27 年度はピンチ 25 年度国保一人医療費約 3 2 万円

国保税は 16 年度 19 市中、高い方から 3 番目だったが…22 年度から一番高額となる。27 年度は 8 億円の赤字。又、上がりそう (市民タイムス 28. 2. 6)

介護保険料も (15 市中) 2 番目に高額。 16 年度 (4 位) より悪化。 (表 5)

目に高い。15 年度は 4 位であったものが、18 年度から 26 年度は 1 番高額。特に 24 年度は長野県 77 市町村の中で一番の高額であった (数値省略) なお、4 市は広域対象の為算出が不可。

松本市の健康宣
伝予算は膨大。
上記の健康実態
であるのに
松本市の健康政
策を世界に発信。
台湾・ドイツに 762 万円。
文芸春秋広告に 423 万。

健康政策が実っていれば、国民健康保険税(国保税)、介護保険料が安くなって良いはずである。

19 市中高額の 方からの順序	
16 年度	3 位
17	4 位
18	5 位
19	4 位
20	7 位
21	2 位
22	1 位
23	1 位
24	1 位
25	2 位

介護保
険料(表
5)も 15
市中の
で、2 番

15 市の中で 高額の方からの順位	
12—14 年度	7 位
15-17 年度	4 位
18-20 年度	1 位
21-23 年度	1 位
24-26 年度	1 位
27-29 年度	2 位

★世界健康首都会議を開

催。健康づくり等の情報を発信(市民タイムス 27. 11. 7)。★台湾、ドイツに健康政策の発信と収集 762 万円 ★文芸春秋に 423 万円で健康寿命延伸都市の広告。実績が出来れば宣伝はいらない。

★あらゆる所に「健康寿命延伸都市」のポスターを張ってある。(以上文責山崎たつえ)

■資料：以上は、松本市議会議事録、山崎たつえHP、厚生労働省HP、長野県HP、長野県/松本市の資料、信毎新聞、市民タイムスを元に作成した。表 1：. 県健康福祉部調査(27.4.17)。健康寿命とは平成 22 年において 0 才の人が健康で何才まで生きられるかの数値。表 2: 信毎参照、厚労省HP 表 3: 長野県 HP。不健康期間の順位は山崎たつえ作成。表 3: 長期療養者数は 松本市職員課。表 4: 県 HP/県国保連合会/長野県/松本市 表 5: 厚労省資料/長野県/松本市。

健康政策を実らせた他市の例: 埼玉県東松山市は「国民健康保険税の軽減」を目標に市民歩け運動を展開。市長始め、最低 3 ヶ月、毎日、歩く実践をし、歩く事を習慣化した。全人口の 6% が参加。その結果、翌年の国保への医療費は 2 億 7 千万円の減となる。(25. 12/26. 6 山崎たつえ市議会議事録)。裏へ続く⇒